

平成24年度第3回八街市地域公共交通協議会 会議要旨

- 日 時 : 平成25年1月28日(月) 午後3時～午後5時
- 場 所 : 八街市総合保健福祉センター3階 大会議室
- 出席者 : 委員25名中出席者19名(代理出席者2名を含む。)、欠席6名
- 傍聴人 : 5名
- 会議要旨 :

3. 議題

(1) 第2回協議会資料に関する委員からの意見について(報告)

- ・事務局 : (資料説明)

(2) 路線バスアンケート調査結果について(報告)

- ・事務局 : (資料説明)
- ・中村委員 : 路線バスアンケート調査で、何がわかったのか。
- ・事務局 : (補足説明)
- ・佐藤委員 : 路線バスは、市内の一部しか通ってなく、一部の地域しか利用できない。バス会社の方は、「乗ってもらえない」というが、利用することができないのである。ふれあいバスと路線バスを使い分けるような乗り方になれば、もっと乗る人が増えると思う。
- ・小澤会長 : ご意見については、また議題(3)の中で議論を続けていけばと思います。この件は、報告事項ということでご理解いただければと思います。

(3) 地域公共交通のあり方について

- ・事務局 : (資料説明)
- ・小澤会長 : 先ず、策定のスケジュールについて、第一回協議会において24年度(本年度)に連携計画を策定するスケジュールでご了承頂いたが、委員の方から、議論を充分に行って計画をつくるべきとの意見があり、このようなスケジュールをご提示させて頂きました。これについてご意見はありますか？

(意見なし)

- ・小澤会長 : それでは、計画は来年度に策定することでご了解頂けたものといたします。では、それを前提に議論を進めて参ります。
: まず「公共交通の現状と利便性向上の課題」についてご意見はありますか。
- ・中村委員 : 先日、市の企画課に、市民団体「八街市民の交通を考える会」から提案があったという話を聞いた。そのような提案があったのかなかったのか、教えていただきたい。また、その提案は、今回の事務局からの提案に反映されているのかを教えていただきたい。
- ・事務局 : 市民団体からの提案はあった。その内容は、ネットワークのパターンに関するもので、八街駅の周辺を回る環状方向のネットワークを形成するような提案であった。今回の事務局案の中にも、市内環状ルートの確保という案があり、その考えと似た案も含まれている。
- ・中村委員 : 反映しているというわけではないが、考慮はしたという理解で良いか。
- ・事務局 : 提案の中には、費用がかかる部分もあり、実現不可能な部分があるのも事実である。
- ・中村委員 : ネットワークの考え方の部分は考慮したということと理解する。
- ・越川委員 : ふれあいバスの乗務員の姿勢についてお聞きしたいが、先日知り合いが、車

椅子で乗ろうとしたら、乗務員がリフトの使い方がわからず、乗るのに恥ずかしい思いをしたと言っていたが、乗務員の教育はどうなっているのか。

- ・ 今井委員：会社では、乗務員の教育のなかで、車いすのリフトの教育を行っています。リフトの操作方法の教育は徹底しています。もし操作方法で不十分な事があったら再度教育し直します。
- ・ 越川委員：お願いします。

- ・ 佐藤委員：先日、泉台の住民に、公共交通に関するアンケート調査を実施した。泉台 670 戸中、回収 113 人で、その結果は、「高速バスが榎戸駅に来たら乗るか」では、乗る 63 人、乗らない 47 人。「ふれあいバス利用したことがあるか」では、ない 86 人、ある 30 人。「デマンド交通が運行した場合、ふれあいバスがなくなること前提に、デマンド交通を利用するか」では、する 62 人、しない 26 人という結果となった。
 - ：住民には、デマンド交通のメリット、デメリット等を理解していない方が多い。ふれあいバスもどのように走っているのか理解していない方もいる。
 - ：公共交通の再編にあたっては、市の方が宣伝なり、各地域でもう一度アンケートを行ったり、公共交通のあり方等を話に来てくれないか。
- ・ 事務局：公共交通の再編には、地域の皆さんの理解が必要なので、何らかの方法で説明を行っていききたい。

- ・ 小澤会長：議論を項目ごとに進めていくのは厳しいので全体での意見に変更します。
- ・ 浅羽委員：市の財政状況をご説明するが、社会保障費等の増大で、非常に厳しい状況である。ふれあいバスに関しても、事業費の見直しが必要不可欠な状況である。事業内容も見直す必要があり、皆さんの意見をそぐことになるが、市の財政の健全化も非常に重要なので、ご理解いただきたい。
- ・ 佐藤委員：デマンド交通が出来た時、障害者の方も乗れるように車椅子ごと乗るのではなく、乗務員の方にヘルパーの資格を持った方を雇い、介助してもらえような仕組みにしてもらいたい。
 - ：他市では、片道 300 円であれば、障害者の方は 150 円など、障害者の方からも料金を取っているが、市ではどうなっているのか。
- ・ 事務局：現在は、障害者手帳の提示があれば、無料になっています。
- ・ 佐藤委員：他市の事例から見ても、障害者の方も程度運賃を負担して頂くようにしてはどうか。公共交通の利便性向上に向けて、市民と市が一体となって協力していけるような、費用負担のあり方にしていただきたい。
- ・ 浅羽委員：貴重なご意見ありがとうございます。公共交通の再編にあたっては、事業費、運賃含めて、議論して頂ければと思います。
- ・ 佐藤委員：このような事も含めて市の方たちが各地域で説明して頂きたい。
- ・ 岩崎委員：資料 p 55 に飛びますが、それ以降はいつのタイミングで話を頂けるのか。今後の検討スケジュールや検討項目が示されているが、これはいつご説明頂けるのか。
- ・ 事務局：(p 54 以降「地域公共交通総合連携計画策定に向けて」について補足説明) 計画の目標の中で、数値目標を示しているものがありますが、バス発着の時間間隔、乗務員の休憩時間の確保もあり、本数の増は経費負担増となりますので、数値目標の可否、サービス水準にも検討が必要と思われれます。
 - ：また、P 5 8 に事業メニューが記載されていますが、あくまでも記載例であります。

- ・中村委員：以下の3点について確認したい。
 - ①「ふれあいバスの運行頻度を高める方策」等のなかで、「現状でネットワークが完成している」という旨の記述があるが、1日数本の運行本数で完成しているといえるのか？
 - ②デマンド交通の導入可能性の中で、需要量が現在のバスの利用者数になっているが、利便性が高まった場合、マイカーからの転換も見込まれるが、その点を考慮しているのか？
 - ③路線バスの運行本数が少ないので、ふれあいバスの運行本数を増やしても接続できないのではないのか？
- ・事務局：①については、各集落と主要施設をつなぐというサービスレベルが達成されているという趣旨であり、「完成している」は言い過ぎでした。
 - ：②について、今回の検討は、現在顕在化している需要に対応できるか否かであり、潜在需要は考慮していません。潜在需要以前に、顕在化している需要に関して、朝の通勤と通学の両方の需要への対応が大きな課題と考えています。
 - ：③については、事務局の提案の段階であり、今後、バス会社を含めた議論になると考えています。
- ・中村委員：再編の候補はあった方が良くと思うが、悪いところを良い方に解釈して、最後に実現できないでは、良くない。
 - ：この会議には、バス会社や鉄道会社の方も参加しているので、実現可能性についても議論したほうが良いと思う。問題点を吟味しなければ、一部の手直しに終わってしまうのではないか。
 - ：バス会社、鉄道会社は、儲からない事業はできない。儲かる方法を市民と協力して検討していけば、公共交通がもっと良くなるのではないか。
 - ：皆さん、限られた予算の中でやっていますので、場合によっては切らなければならないこともある。立派な資料頂いたが、カラーコピーなど使わないで節約してほしいと思う。
- ・小澤会長：ありがたい話ありがとうございました。最後の節約できるところは節約しては、まさにその通りだと思う。市でも今ある材料の中で出来る限りの部分を示すという思いがある。では具体的に何を進めるか、そういった話を積み重ねながら、今後検討していくことになると思います。
- ・佐藤委員：先日テレビで、北海道のバス会社の話が紹介されていました。バスの利用が減っているので、社長自ら、時刻表を持って、各戸を回り、手渡しでバスの利用をお願いしていた。
 - ：八街のバス会社も、市民にもう少し宣伝する必要があるのではないか。市民とバス会社一体となって、バスの利用促進について、検討していくことが大切と考えている。
- ・今井委員：私もバス会社、少なくとも私は、高齢者向けの「ダイヤモンドパス」を、高齢者のご自宅に伺って発売しています。バス車内で、購入希望の方がいれば、申込用紙を渡したり、必要があれば自宅までお伺いしますというサービスをしています。その他営業所などの窓口もあり、お客様一人一人との交流を大切にしております。
 - ：子どもたちは、今バスに乗りません。乗り方も知りません。そこで、学校からの要請があれば、安全教室をひらいおります。バスの乗り方、交差点の渡り方、バスの死角、バス運転手の席に乗ってバスに馴染んで頂く、そうした

取組み、努力をいたしております。

：市の広報にも、バスの現状をわかって頂けるように、危機的な状況にあることを載せてもらいました。バスの重要性を少しでもわかってもらえるように、出来る事はやっているつもりですので、ご理解いただきたい。

- ・佐藤委員：バス会社の取組みがわかって、良かったと思います。
- ・中村委員：住民の皆さんが、その地域でバスに乗ろうよと言ってくれれば、また雰囲気も違ってくるのではないかと。

- ・岩崎委員：p 54 から記載されている連携計画の記載例はどうするのですか。こういう方向で進めてよろしいか承認頂く必要があるのではないですか。
- ・事務局：岩崎委員が仰ったように、今後、連携計画の策定にあたっては、この記載例の方向で、今後、来年度にかけて、まとめていくことでご了承いただきたいと考えています。
- ・小澤会長：事務局から話がありましたように、記載例は、ひとつの例となります。今後、皆様の意見もふまえて連携計画をまとめていくことについて、ご意見ございますか？
- ・中村委員：ある程度、方向性が決まって進めていることについては、文句もありませんが、その日のうちに協議があって、その結果をもって次にこういきましょうというのがふつうの流れだと思う。
- ・事務局：誤解があったら恐縮ですが、計画の結論ありきでなく、あくまでも今後の連携計画の骨子としてご理解いただきたい。これについては、この場でご意見を頂くのは難しいと思いますので、何かご意見があれば、事務局までご意見を頂きたいと考えています。
- ・中村委員：その割には、基本方針だとかしっかり計画、目標だとか作られているようですが。
- ・事務局：先ほど委員の方からもご意見あるように、きちんと地域の方と話をすることも大切だと考えています。次年度にかけて、十分議論をして頂きながらまとめていきたい。拙速に案をまとめようとしているわけではありません。
- ・岩崎委員：これは大変重要で、地域のマスタープランになる計画なので、来年度じっくり考えていけばよいと思います。
：事務局より、ご提案頂いた資料は、事業メニューの一つひとつに囲みがあって、記載例が記入してあり、こういった内容で良いか、お伺いを立てております。事業スケジュールに飛びますが、p 63 例えば事業メニューの「ふれあいバスの機能強化」について、本日ご提案頂いたいくつかの案をたたき台にして、検討していくことになる。その検討については、地域で検討会なりを立ち上げて、市、住民、バス事業者がそれぞれ協議をしていく。といったことが示されています。
：非常に細かく配慮されている気がします。この記載例をもとに、次回以降の協議会で、ひとつひとつ議論していけば、良い計画が出来上がるのではないかと考えています。
- ・小澤会長：ありがとうございます。他にありますか。

- ・中村委員：議題(1)の委員からの意見については、意見の紹介で終わりなんではないでしょうか？
- ・事務局：事前にお配りした、委員からの意見につきましては、この時間の中でご議論頂ければという考えはございましたが、時間が過ぎてしまいましたので、必

要があれば、次回議論することも含めて考えています。

: それと皆様には、無記名の資料を配布しておりますが、このまま無記名でよろしいか、ご確認したいと思っておりました。

(無記名でよし、多数)

- ・事務局 : では、無記名といたします。よろしいですね。

- ・佐藤委員 : あと、なぜ公募が2名だけなのか。大切な会議には、もう少し市民の代表の人数が多い方がよいと思います。今後は検討して頂きたい。
- ・事務局 : ご意見ありがとうございます。たしかに公募の方は2名ですが、その他にも区長会長、老人クラブ会長、身体障害者福祉会長、PTA連絡協議会長等も加わって頂いているので、この方々も公募委員と同様に市民・利用者の代表としての位置付けでありますので、ご理解頂きたい。

- ・小澤会長 : 最後に轟先生一言あれば、お願いします。
- ・轟委員 : 今回は、議論が多少散漫になってしまったような、感じがします。
: 今回皆さんが発言した、公共交通の再編に向けて必要な内容の多くは、「連携計画の記載例」の中に示されていたはずで、もう少し丁寧な「連携計画の記載例」の説明があっても良かった気がします。
: 皆さんが求めている、地域説明会や検討会等のメニューも含まれているので、連携計画の基本的な方針や目標、実施事業等については、次回以降議論していけば良いと思う。
: 公共交通の再編に関しては、通勤・通学、通院、買物等のニーズの全てを、一つのネットワークで解決しようとする、難しいかもしれない。朝の通勤・通学では、直接駅に向かって欲しいのに周回していたらニーズに合わない。昼間は、少し時間に余裕があって、家の近くまで来てほしいというニーズであれば、ネットワークを分けることも考えである。一般的なコミュニティバスは、昼間のニーズに合わせているのが普通である。あと、障害者の方は、別途、障害者向けのサービスに委ねたほうがよいと思う。
- ・小澤会長 : 本日は、ありがとうございます。